

## 県職交渉（5月交渉①）概要

- 1 日 時 令和4年4月22日（金）
- 2 場 所 自治会館101会議室
- 3 出席者 【当局】行政経営部長、人事課長外  
【組合】委員長、副委員長、書記長外
- 4 議 題 執行体制・公募関係、テレワーク

項 目	組 合 主 張	当 局 回 答
執行体制・ 公募関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公募に向けて人事の基本的な考え方はどうか。</li> <li>○来年度の事業量増減についてはどうか。</li> <li>○今年度末の退職見込数はどうか。</li> <li>○任期付職員は解消していくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退職見合いで、フルタイム再任用と事業量増減を考慮して考える。</li> <li>○各局と精査中だ。</li> <li>○定年退職が141名で、早期退職は60～70名程度を見込んでいる。</li> <li>○イレギュラーと考えており、解消していくつもりだ。</li> </ul>
テレワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テレワークの対象職員を拡大する理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常勤特別職及び会計年度任用職員は業務内容や勤務形態が多岐に亘っているが、テレワーク時にコミュニケーションがとれる環境整備をしたため、常勤職員と差異を設ける必要はないと判断した。</li> </ul>